

%として表わしてある。●—● 孵化7日、○—○ 孵化24日および☆—☆ 孵化32日の正常鶏 (Burden²⁾より)。▲—▲ 孵化150日のジストロフィー鶏。

5. PMD患児(者)における ステロイドホルモン分泌動態について (尿中ステロイドホルモンの分析)

国立療養所長良病院
桑原英明

Horningの方法に準じて β -glucuronidase加水分解、酢酸エチルによる抽出、Methoxylamine Trimethyl silyletherによる前処置の後、昇温ガスクロマトグラフィーにより尿中ステロイドホルモンの分析を行った。

対照は表Iの如く年令13才5ヶ月から22才1ヶ月、体重18.3 kgから52.5 kg 障害度はSwingardの分類でVI~VIIIのD型PMD患児10人でcontrolとしてほぼ同年令と思われる。13才から15才の殆んど発作なく経過観察中の気管支喘息患児及び同様経過観察中の慢性腎炎患児5人をえらんだ。

結果は表IIの如くでandrosterone (An) etiocholanolone (ET) dehydroepiandrosterone (DHEA) といった17-KS、Tetrahydrocortisol (THF) Cortolone といった17-OHCSともにPMD児で低い傾向を示し、特に症例5.10でその傾向が強くみられた。これらは、るいそうが目立ち、機能障害の著しい者であった。

【ま と め】

症例数、対照に問題はあがあるが、ガスクロマトグラフィーにより尿中ステロイドホルモンを分析し比較したところ

1. PMD児で17-KS、17-OHCSとも全体に低い傾向をつかんだ。
2. PMD児の中でも、るいそう、機能低下の著しいものでその傾向が強くみられた。

以上はD型PMDに関して一次的なものか、あるいは二次的なものかは判断しがたいが、これをもとに、今後更に症例を増すとともに負荷テスト等も加えて検討する予定である。

表 I

患児	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
年 令 (才・月)	21.01	13.05	22.01	16.10	19.03	18.07	18.02	19.01	20.02	19.06
障害度 Swinbard	VI	VII	VII	VI	VIII	VII	VII	VII	VI	VIII
体 重 (kg)	48.4	36.6	32.2	52.5	18.3	48.4	31.5	34.6	39.8	19.7

表 II

Cont (N = 5)	P			M			D			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
An 3.21 (1.54 ~ 4.88)	1.79	0.62	0.39	3.90	0.51	1.27	1.11	2.63	1.99	0.71
Et 22.7 (1.18 ~ 3.36)	0.42	0.21	0.39	1.03	0.49	0.98	0.58	1.06	0.54	0.72
DHEA 0.77 (0.28 ~ 2.11)	0.07	0.07	1.14	1.23	0.08	1.07	0.28	0.92	0.09	0.10
6.25	2.28	0.90	1.92	6.16	1.08	3.32	1.97	4.61	2.62	1.53
THE 1.62 (1.21 ~ 3.42)	1.71	1.52	1.00	1.51	0.22	1.83	1.20	2.03	1.21	0.73
THF 1.80 (0.82 ~ 3.2)	2.23	1.51	0.81	1.69	0.20	1.23	0.81	1.21	1.03	0.98
Coltolone 1.53 (1.24 ~ 3.21)	—	0.70	1.23	1.70	0.48	0.61	1.13	0.51	0.62	—
4.95	3.94	3.73	3.04	4.90	0.90	3.67	3.14	3.75	2.86	1.71

6. 正常及び筋ジストロフィー 由来筋芽細胞の生化学的研究

国立療養所西多賀病院

中川原 寛 一 山 田 満

〔目 的〕

DMPマウスの入手が困難になり、Cell culture した。細胞の形態的観察、生化学的な比較は充分に出来なかった。そのため今回は Cell culture した。細胞のCPK Isozyme 等の比較をするための予備実験として、従来法である、無機リン酸法より感度の点で良好とされている逆反

↓
検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります
↓

Horning の方法に準じて β -glucuronidase 加水分解、酢酸エチルによる抽出、Methoxylamine Trimethyl silylether による前処置の後、昇温ガスクロマトグラフィーにより尿中ステロイドホルモンの分析を行った。

対照は表 の如く年令 13 才 5 ヶ月から 22 才 1 ヶ月、体重 18.3kg から 52.5kg 障害度は Swinbard の分類で ~ の D 型 PMD 患児 10 人で contro1 としてほぼ同年令と思われる。13 才から 15 才の殆んど発作なく経過観察中の気管支喘息患児及び同様経過観察中の慢性腎炎患児 5 人をえらんだ。